

International
LEOPOLD

Ver.FC660CMIJ 2109

LEOPOLD
FC 660C



Dye-Sublimated
PBT Keycap

66key Electrostatic Capacitive Mini Keyboard
Designed by Leopold. Inspected in Japan

取扱説明書

本紙に記載された内容は製品やOSのバージョンによって変更される場合がございます。記載事項は正確を期すべく細心のチェックを行っていますが、内容の正確性については保証致しかねます。当社は予告なしに内容を変更する権利を有します。

また、本紙内には付属しない製品の画像や用語が記載される可能性がございますが、付属品については本紙やパッケージの付属品欄に記載がある物のみとなります。

他社登録商標・商標をはじめ、本紙に記載されている会社名、システム名、品名は一般的に各社の登録商標または商標です。

安全上のご注意 (必ずお守りください。)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為必ずお守りいただくことを記載しております。



危険

死亡または重傷を負う恐れが大きい内容です。



警告

死亡または重傷を負う恐れがある内容です。



注意

軽傷を負う事や物的損害が発生する恐れがある内容です。



気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。



してはいけない「禁止」の内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。

免責事項

お客様または第三者がこの製品の誤使用や使用中に生じた故障、その他製品の不具合によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、予めご了承ください。

⚠ 危険

- ⊘ 本製品を火の中、電子レンジ等に入れたり、加熱したりしないでください。破裂や発火の原因となります。
- ⊘ 本製品を直射日光の当たる場所や炎天下の車中、暖房器具の傍で使用、もしくは保管をしないでください。破裂や、発火の原因となります。
- ⊘ 本製品の分解、改造を行わないでください。発熱、破裂、発火、火傷、感電の原因となります。また、分解、改造の痕跡がある場合、保証期間内でも交換、修理対応をお断りさせて頂くことがあります。
- ⊘ 各種端子をショートさせないでください。発熱、破裂、発火、火傷の原因となります。

⚠ 警告

- ⊘ 本製品に強い衝撃や圧力を与えないでください。与えてしまった場合は、すぐに取り外して全てのケーブル類を抜き、一旦使用をやめてください。そのまま使用を続けるとショートや発熱、感電等の原因となります。
- ⊘ 本製品の使用中に煙が出たり、異臭、異音、異常な発熱をした場合は、すぐにケーブル類を取り外して使用をおやめください。そのまま使用を続けるとショートや発熱、感電等の原因となります。
- ⊘ 水分や湿気の多い場所では本製品は使用しないでください。
- ⊘ 液体に本製品を入れたり、濡らしたりしないでください。
- ⊘ 濡れた手で本製品に触らないでください。
- ⊘ 小さなお子様の手の届く場所に本製品を設置、または放置しないでください。
- ⊘ プラグやコネクタやその周辺にほこりが付着した場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- ⊘ ケーブルに負荷をかけたり、無理な力で巻いたりしないでください。
- ⊘ 製品やケーブルを加工したり、傷つけたりしないでください。
- ⚠ 各種コネクタやケーブルは根元までしっかりと差し込んでください。
- ⚠ 各種コネクタやケーブルを挿したまま持ち運ばないでください。

⚠ 注意

- ❗ 静電気による破損を防ぐ為、本製品に触れる前に体の静電気を取り除いてください。本製品の破損、または接続機器のデータが消失する可能性があります。
- ❗ 動作環境内でご使用ください。機能低下、発熱等の原因となります。
- ⊘ 以下のような場所で使用、設置をしないでください。感電や火災の原因となります。
 1. 強い磁界が発生するところ
 2. 火気の周辺や熱のこもるところ
 3. 漏電等を引き起こす、水や水場の近辺
- ⊘ 有機溶剤で本製品を拭かないでください。
- ⊘ 本製品を熱がこもる状態で使用しないでください。
- ❗ コネクタやケーブルは接続の方向を確認した上で差し込んでください。
- ⊘ 使用中は熱を持ちます、低温火傷の原因となりますので長時間触れないでください。 ※異常な発熱をした場合はすぐに使用をやめてください。

※重要：必ずお読みください

製品保証規定

■ 健康に関する注意点

- ・キーボードの使用により、身体的な障害が生じる可能性があります。長時間のご使用は、手や腕、首や肩、腰への負担が多くなります。不快感・苦痛・鈍痛・痺れ・うずき・筋肉の硬直などの身体症状が生じた場合には、直ちにキーボードの使用を中止してください。また、定期的に休息をとるようにしてください。なお、身体に感じる症状は、使用時・操作時以外でも発生します。体調がよくないときは、長時間の操作をお控えくださいますようお願い致します。

■ 安全に関する注意点

- ・キーボード本体の落下などにより思わぬ事故となる場合があります。設置する場所は平らで滑らない場所をお選びください。
- ・キーボードは精密機械であり、内部に変圧装置を含みます。飲み物などの水分が内部に侵入しないようお取り扱いに十分ご注意ください。万が一、液体物が侵入した場合は、直ちにご使用を停止してください。
- ・分解、改造はしないで下さい。手を切る、感電するなどの恐れがあります。また保守用ラベルをはがすなど、分解や修理、改造の痕跡が見られた場合、故障時の保証の対象外となります。
- ・コネクタはぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。

■ キーボードの使用環境に関する注意点

- ・当キーボードは防水仕様ではありません。飲み物などの水分が混入しますと、基板やICの不具合を起こし、使用できなくなる場合があります。

■ パソコンに接続する際の注意点

- ・USB2.0 もしくはUSB1.1 ポートへの接続を推奨します。USB3.0 ポートへ接続した際、PC 側の仕様により認識しない場合があります。USB3.0 ポートのみ有する PC で使用する際は、UEFI/BIOS の設定変更が必要な場合があります。変更方法は、各 PC メーカー・マザーボードメーカーにご確認ください。
- ・USB ハブ経由で使用する際、電源供給能力により本製品が動作しない場合があります。
- ・セットアップ作業を行う際は、管理者権限を持つユーザーでログインして下さい。
- ・本製品はホットプラグに対応しています。OS が起動した状態でも取り外しが可能です。
- ・OS の起動中に何度も抜き差しを繰り返すと、動作が不安定になる場合があります。このような場合は、OS を再起動してください。

■ 保証内容について

本保証書は製品が万が一故障した場合、ご購入頂いた日から保証期間内の保証を行うものです。**製品の初期不良はご購入日から1週間**とし、初期不良と認められた場合は商品を交換致します。保証期間内で初期不良と認められない場合は、製品を修理致します。**保証を受ける場合は、販売店発行の購入証明書(領収書、レシートなど)が必要となります。**

■ 無償保証範囲について

無償修理の対象は、下記の条件に当てはまる場合に適用となります。

- 1.販売店での購入日から1年以内であること
- 2.購入日が確認できる販売店の購入証明書(レシート、領収書etc…)、パーツや付属品のすべて(USBケーブルetc…)が揃っている

※1但し次の場合は保証対象外(有償修理)となりますので、ご注意をお願い致します。

- A) 個人で改造されたり不当な修理をされたことに起因する故障または損傷
- B) 取り扱いの誤りによる故障の場合
- C) 天災地変等による故障、損害の場合

下記の場合には、保証対象外となります。

- 1) 保証書及び、販売店、購入年月日の確認ができる購入証明書がない場合は無効となります。
- 2) 保証書は日本国内のみで有効です。
- 3) 本製品の故障またはその使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、当社はその責任を負いません。
- 4) 保証期間内でも次のような場合は有償での修理となります。
 - A) 通常の使用以外の操作で発生した場合の故障または損傷
 - B) 飲みこぼしや食べこぼし、ホコリやごみの内部侵入などに起因する故障または損傷
 - C) 経年劣化などにより物理破損(キーキャップが割れた、外してなくした、コネクタ破損、ケーブル断線など)
 - C) 改造されたり不当な修理をされたことに起因する故障または損傷
 - D) お買い上げ後輸送されたことに起因する故障または損傷
 - E) 地震、風水害そのほか不測の事故による損傷
 - F) 販売店発行の購入証明書(領収書、レシートなど)を提示されない場合
 - G) オークションなどを含む中古販売品・個人売買品・未開封品の二次販売等で購入した場合

■ 修理について

- ・修理のご依頼は、弊社サポート窓口へ直接お問い合わせください
- ・修理をご依頼頂く際の送料はお客様のご負担となります。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いません。
- ・有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしません。

■ 免責事項

- ・本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- ・本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いません。

■ 保証規定に関する注意点

- ・本製品は購入国内での使用を前提に保証を規定しています。日本国内で販売店を通じて購入した場合は株式会社アーキサイト、海外販売代理店経由で購入した場合は各代理店の定める保証規定が適用されます。
- ・本書内に掲載している保証書は、日本国内でのみ有効です。

■ Warranty policy

Our service and warranty is only provided domestically in Japan

使用前の注意（必ずお読みください）

本製品は、英語配列キーボードです。

今までお使いのキーボードが日本語配列だった場合、OS側のハードウェアキーボード設定が、“日本語（配列）キーボード”のままになっている可能性があります。キーボードの印字と入力される文字を一致させ、正しく入力するには、OS側でキーボードの配列設定変更（ハードウェアキーボードレイアウトの変更）が必要です。

例)

- ・ Shift+2@（テンキーではないほうの“2”キー）を入力した際、「@」ではなく「”」が入力されてしまう
→OS側のハードウェアキーボード設定が、“日本語（配列）キーボード”のまま

■Windows10 機器に繋いで使用する場合

（Windows10 OSの設定変更）

1. 左下のWindowsマークをタップ（キーボードのWindowsキーを押す）
もしくは画面の右端をスワイプしアクションセンターを立ち上げます。
設定のアイコン（歯車マーク）をタップし、Windowsの設定を立ち上げます。
2. 「時刻と言語」をタップします。
3. 「地域と言語」をタップします。
4. 「言語」の「英語」をタップし、「オプション」をタップします。
5. 「ハードウェアキーボードレイアウト」の「レイアウトを変更する」をタップします。

【英語配列キーボードを接続してるが、日本語配列キーボードとして認識してる場合】

レイアウトの設定が「日本語キーボード（106/109キーボード）」になっている場合は、「英語キーボード（101/102キーボード）」に変更し、サインアウトします。

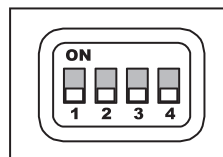
パッケージ内容

- ・ キーボード本体 … 1台
 - ・ USBケーブル (USB Mini-B to A)… 1本
 - ・ Ctrl/CapsLock 交換用キーキャップ（※DIP1 ON時に使用）… 1セット
- ※キーキャップ引き抜き工具は付属しません。別途お買い求めください。

注意

ご使用前に、内容物がすべて揃っているかを必ず確認してください。
なお、梱包には万全を期しておりますが、万が一不足品、破損品がありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはアーキサイトサポート窓口までご連絡ください。

DIPスイッチによる設定



本体背面上部に DIP スイッチを搭載しています。
DIP スイッチの ON/OFF により、各スイッチに割り当てられたキー機能変更設定を有効 / 無効にすることが可能です。
工場出荷時はすべて OFF（スイッチが下がっている）状態です。

■DIP スイッチの操作方法

1. キーボードをパソコンから外してください。
2. 爪楊枝など、先端が細いものを使い、スイッチを引き揚げます。
3. スイッチの設定を行ったのちに、パソコンに接続してください。
4. 各種設定が反映されます。

スイッチ番号	変更項目	OFF(初期設定)	ON
SW1	左 Ctrl キー	左 Ctrl キー	CapsLock キー
	CapsLock キー	CapsLock キー	左 Ctrl キー
SW2	Windows キー	Windows キー	左 Alt キー
	左 Alt キー	左 Alt キー	Windows キー
SW3	Windows キー	Windows キー	Fn キー
	Fn キー	Fn キー	Windows キー
SW4	Windows キー	有効	無効 (Lock)

※SW2 と SW3 が同時に ON になっている場合は、SW3 が優先され、SW2 は効きません。

ESCキー位置の動作設定

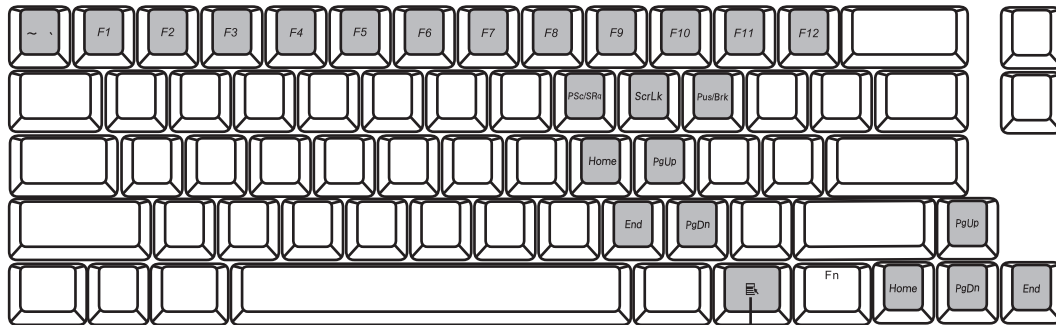
ESC 位置（左上端）のキーは、初期状態の ESC キーと `（バッククオート）の切替が可能です。切替操作は、Fn+Q で行います。

設定状態は、Insert キー右上の LED インジケータで確認できます。静音スイッチモデルは、機構設計上の理由で、LED インジケータはございません。予めご了承ください。

切替操作方法	ESC キー位置の動作	LED インジケータ (静音モデルは非搭載)
Fn+Q (トグル動作)	ESC (初期状態)	 消灯
	` (バッククオート)	 点灯

Fn キーとの同時押しで動作する キー入力機能

省略されたファンクションキー（F1～F12）などは、Fn キーとの同時押しで入力が可能です。



アプリケーション / Menu キー

Shift + ESC	~ (チルダ)
Fn + ESC	` (バッククォート)
Fn + 1! ~ = +	F1 ~ F12
Fn + 右 Ctrl	アプリケーション / Menu キー
Fn + I	PrintScreen/SRq
Fn + O	Scroll Lock
Fn + P	Pause/Break
Fn + K	Home
Fn + L	PageUp
Fn + <	PageDown
Fn + >	End
Fn + ↑	PageUp
Fn + ↓	PageDown
Fn + ←	Home
Fn + →	End

製品仕様

キー配列	英語US ANSI配列
キー数	66キー
キースイッチタイプ	東プレ静電容量無接点方式
キー荷重特性	ALL 45g(ソフトタクタイルフィーリング)
キーストローク	約 4 mm
キーピッチ	約19mm
接続方式	USB
USB コネクタタイプ	USB Mini-B
電源	USB バスパワー
キーキャップ印字	昇華印刷
キーキャップ材質	PBT (ポリブチレンテレフタレート) 樹脂
本体サイズ	W328mm xD111mm xH25 ~ 40mm
重量	約 700g (ケーブル含まず)

製品型番 (外箱バーコード面に記載)	スイッチタイプ (標準 or 静音)	キーキャップ 配色
FC660C/EBL	標準	黒 (墨色)
FC660C/EBLS	静音	黒 (墨色)
FC660C/EGB	標準	グレー / ネイビー
FC660C/EGBS	静音	グレー / ネイビー
FC660C/EWLS	静音	アイボリー / グレー

トラブルシューティングや製品に関するFAQは、
下記のURL で公開しております。ご参照ください。

<https://archisite.co.jp/support/faqkeyboard/>